

●令和3年度各種環境測定結果報告資料へのご質問等			
資料番号	質問者	ご質問欄	回答
4	池上会長	省エネチャレンジによるCO2削減は、温暖化対策推進計画にも目標値（100ton-CO2）が設定されています。今回の省エネチャレンジの結果から見積もられるCO2削減量について定量的に示すことができますでしょうか？	定量的にお示すすることは非常に難しい状況です。集計時に削減率3%未満の人、3～6%の人、6～10%の人、10～15%の人、15%以上の人と大枠で括ってしまっていること、例えば削減率5%の人であっても元の使用量が異なるため、削減量も同じとはなりません。 一つ一つの数字を追っていくとなると大変時間がかかってしまうことが想定されます。
4	高田委員	【省エネチャレンジについて】 成果はどのように市民に発信されていますでしょうか。またこの成果をどのように活用するかのご検討がされていればお教え下さい。	市ホームページ等に掲載しています。この結果を見て自分も取り組んでみようと思ってもらえるよう、周知していきたいと思います。
4	羽田野委員	省エネチャレンジの結果は、今後どのように活用されるのか。 環境施策に生かす計画があるのか。	市ホームページ等に掲載し、この結果を見て自分も取り組んでみようと思ってもらえるよう、周知していきたいと思います。 「小金井市気候非常事態宣言」同様、この現状を他人ごとではなく、一人ひとりが自らのこととして捉え、できることからすぐに始めるという意識付けをすることが目的なので、より周知には力を入れていきたいと考えています。
10	中里委員	井戸水・有機塩素化合物と鉛の調査は、井戸13地点で実施ということだが、これは市が把握している小金井市の井戸全てなのか。	全てではありません。また、手押しポンプの揚水施設については、届出義務がありません。
10	中里委員	13地点をピックアップした基準は何か。	所有者の御協力が得られる地点で調査を実施しています。
10	中里委員	有機塩素系化合物2種類が検出されているが（12ページ図2-1）、その地点の井戸（No.6.7.8.10.11.12）の検出が高い理由はなにか。No.7（ヨハネ桜町病院）での井戸水の有機塩素化合物のテトラクロロエチレンの高さが気になるのですが、原因を教えてください。	小金井市域上流部で地下水への影響があったものと想定されます。詳細な原因の特定は困難です。
10	中里委員	硝酸塩窒素は井戸No.3と13が際立って低いですが、ちゃんと計測できているのか、なぜ低くとどまっているのか、原因を知りたいです。	報告書3ページ記載の方法で調査を実施しています。詳細な原因の特定は困難です。硝酸性窒素の濃度が高まる一因としては、肥料が考えられます。
10	羽田野委員	井戸水は飲用に適する結果となっているのか。	有機塩素化合物による汚染状況を把握するための調査であり、飲用に適しているかについての項目については調査しておりません。

●令和3年度各種環境測定結果報告資料へのご質問等			
資料番号	質問者	ご質問欄	回答
11	中里委員	これらの13地点の井戸は、個人宅も含めて災害時には一般市民に水が提供されるのでしょうか？	災害用井戸の協定を締結している一部の揚水施設については、応急給水を実施します。
11	中里委員	現在の水質は環境に配慮した上か、放置した状態なのか、どちらですか？	地下水の汚染が国の調査で明らかになった後、法整備がされ、新たな地下水の汚染は生じにくい状況になったと考えています。汚染が生じた地下水についても、時間をかけて浄化されてきていると考えています。（平成28年度以降環境基準の超過はありません。）
12	中里委員	光化学スモッグ緊急対策に要する経費で、長年、小金井市に住んでいるにもかかわらず知らなかったのですが、いつから始まった制度ですか？	昭和50年に「光化学スモッグ災害見舞金支給規則」を定め、平成3年に「光化学スモッグ緊急時医師派遣業務実施要綱」を制定しています。更に平成5年に「光化学スモッグ緊急時対策要綱」を定め、市内各所に発生時の協力体制を整備しています。
その他	高木委員	1.「利用範囲」が狭すぎる →この建物が本当に環境配慮型であるなら、他の目的で利用しても、利用することによって建物から感じるものがあるはずであり、学習する意識がなければ気づかないのであればそもそも施設として十分ではないと思う	貴重な御意見ありがとうございます。「環境」を目的に使用した場合でなくとも、環境保全や自然保護の意識の向上ができるような仕掛けづくりができるよう検討してまいります。
その他	高木委員	2.空調設備を導入するのではなく、都や国が進める高性能住宅(断熱性能)を性能評価5または6レベルまで引き上げる断熱改修を先行して行うべき。	断熱遮熱扉を導入しておりますが、近年の急激な気候変動に対応しきれず、8月は閉館せざるを得ない状況となっております。については、年間を通して様々な世代の方が利用できるよう、空調設備の導入を検討しております。
その他	高木委員	3.利用者数向上「にぎわいの創出」については、産業課が中心に進めている「産業振興プラン」とも連動できると思う。情報共有がどの程度できているのかを知りたい。	市では第5次小金井市基本構想・前期基本計画を最上位計画として各計画を策定し、整合性を図りながら複合的に事業を展開しております。 「にぎわいの創出」についても小金井市産業振興プランの方針に沿った形での事業を展開していけるようにしてまいります。